



東村山高等学校

他者(ひと)のために
一歩先の自分へ

校長室だより 第1号

令和4年度

第1号

令和4年4月23日

〒189-0011 東村山市恩多町4-26-1

TEL 042-392-1235 FAX 042-392-7275



HIGASHIMURAYAMA since 1968

新年度の御挨拶

校長 富川 麗子

4月1日付で東京都立東村山高等学校の校長として着任いたしました富川麗子（とみかわれいこ）です。どうぞよろしくお願いいたします。

早いもので令和4年度がスタートして、3週間が過ぎました。本校は今年度、進学応援型エンカレッジスクールとしてスタートして13年目を迎えます。更に学校を成長させていこうと、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

次に、入学式の式辞の一部を紹介し、年度当初の学校長挨拶に代えます。

（前略）本校での第一歩を踏み出すに当たり、2点についてお話ししたいと思います。

第一は、10代の今、多くのことを吸収してほしいということです。

皆さんは、「旬」という言葉を聞いたことがありますか。旬の野菜、旬の果物、旬の魚など食べ物が一番美味しい時期という意味です。しかも、栄養価が高い時期であるため、旬の食べ物を食べると健康にも良いとされています。しかし、旬というのは食べ物だけではないのでしょうか。児童学の中で、「発達期の臨界期」という言葉があります。これは、子どもの脳には学習に適切な時期があることを示すもので、例えば、言語の学習は0～9歳くらい、視覚や運動は0～4歳くらいが重要とされる概念です。つまり、人間の学びにも旬があるということではないのでしょうか。人間の記憶力は18歳をピークとしてその後は徐々に衰退していくとされています。つまりこれからの3年間で学びの旬であり、その旬を十分に活かすことが重要なのです。

第二は、人との関りを大切にしてほしいということです。

高等学校は、人と人との絆をつくる大切な場所でもあり、皆さんには学習や学校行事、部活動等をとおして、人の痛みが分かり、常に相手の立場に立って物事を考え、感謝の気持ちをもって行動できる人になってもらいたいと思います。

また、仲間を大切に、「チームワーク」について学んでほしいと願っています。例えば、スポーツには各種目に合わせたルールがあります。ルールに基づいて行うのは勿論ですが、チームで行うには、「声をかけあう」、「フォローしあう」など役割を果たしていくと、いい結果が生まれてくるものです。スポーツ以外でも、グループで活動する場面があるのが、学校の魅力でもあります。チームワーク良く柔軟に対応できる人、雰囲気明るくできる人を見て学んでください。このようなことは、社会に出て、仕事をする上でも大切なことです。

（後略）

最後に、引き続き、新型コロナウイルス対策に、各自、各御家庭におきましても万全を期してください。東京都では、「リバウンド警戒期間」が5月22日まで延期されました。これまで以上に緊張感をもち、感染症対策を徹底することが必要です。一人一人の自覚と行動で、新型コロナ感染から家族を守り、仲間を守り、学校を守っていきましょう。

☆『校長室だより』は本校HPにも掲載しています。是非、HPでカラー版をご覧ください。